

新型インフルエンザ特集



1 新型インフルエンザについて

ブタ由来の新型インフルエンザが、国内でも発生し、富士五湖管内でも流行のおそれがあります。ほとんどの方が免疫をもっていないため、通常のインフルエンザより多くの方が発病する可能性があります。弱毒性と言われており、大半の方は重症にならないと考えられています。

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスが、鼻やのど、気管に吸入され、手指等を介して感染します。ウイルスの侵入を防止するためには、手洗いやうがいなどのほか、休養を十分とりバランスよく栄養をとることにより抵抗力をつけておくことも大切です。

感染予防策は、通常のインフルエンザと同じです。

1. 人混みに行かない
2. 外出した後の流水・石鹸での手洗い、うがい
3. マスクの着用 感染予防のほか、感染した場合に、ほかの方に感染させないために効果的です。
4. 咳エチケット 咳やくしゃみをするときは、マスクやティッシュペーパーなどで口と鼻を覆います。



もし新型インフルエンザに感染(疑い含む)してしまったら？

⇒慌てずに、まずは下記の相談窓口へ連絡して適切な指示を仰ぎましょう。

2 「インフルエンザかな？」急な発熱と咳やのどの痛みがある方へ

一般の方

受診する前に、医療機関に事前に電話で連絡して、受診の時間帯、受診方法等について指示を受けましょう。

慢性疾患があっかかりつけの医師がいる方

かかりつけの医師に電話して、受診時間などを聞いてください。

妊娠をしている方

かかりつけ産科医師に電話をして、受診する医療機関の紹介を受けましょう。

呼吸が苦しく意識がもうろうとするなどの症状が重い方

なるべく早く入院設備がある医療機関を受診しましょう。必要ならインフルエンザ症状があることを伝え、たうで救急車を呼んでください。

かかりつけ医がないなど、受診医療機関のわからない方は

富士東部保健所地域保健課 新型インフルエンザ相談窓口 ☎24-9035 (平日8:30~17:30)

※医療機関を受診する場合や救急車を呼ぶ場合には必ずマスクを着用してください。

※医療機関を受診せず療養する方は熱が出なくなってから2日間は外出しないように心がけてください。